

連合愛知タウンミーティング  
「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて



活発に行われたパネルディスカッション

## 連合愛知タウンミーティングを開催

連合愛知は、8月25日(土)伏見ライフプラザ(鯉城ホール)において、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけてのタウンミーティングを開催した。今回が初の開催で、会場には構成組織、地域協議会、政策推進議員、後援団体、一般市民から520名の参加があった。

冒頭、主催者を代表して連合愛知神野会長より、「働くことを軸とする安心社会」を提起している背景と初めて愛知県で開催するタウンミーティングにおいて「若者雇用」を取り上げる必要性等について述べられた。続いて「寸劇」により厳しい就職活動の状況を課題提起した。



就職活動をテーマとした寸劇

パネル討論では、愛知県・大村知事、愛知県経営者協会・山田会長、NPO法人キャリアデザインフォーラム・犬塚代表理事、連合愛知・神野会長の4名のパネリストが、現在の就職状況と課題、雇用のミスマッチの解消、若者雇用の改善にむけた各組織の役割と連合への期待について意見提起がされるとともに、会場からも「子育て中の母親への支援」について質問・要望が出された。



愛知県知事  
大村秀章氏

愛知県経営者協会会長  
山田隆哉氏



NPO法人キャリアデザイン  
フォーラム代表理事  
犬塚尚美氏

連合愛知会長  
神野進氏

# 連合愛知 2012 春季生活闘争のまとめ

## 連合愛知の取組み

### 1. 賃金の妥結状況

連合の回答・妥結状況は、集中回答ゾーンの山場である3月14日～15日の前段で、経労委報告への記載及び経団連の発言にあった「定昇のあり方及び凍結」があったものの、ほとんどの組合が賃金カーブの維持の回答を獲得し、賃金改善を勝ち取った組合もあることから、相場形成において一定の評価

ができる交渉及び結果となった。

一方、経団連のコメントでも、「厳しい経営状況の中、企業の存続と従業員の雇用維持を最優先に考えながら、東日本大震災からの復旧・復興への従業員の貢献に経営側として最大限に配慮した結果」との見解を明らかにした。

このような状況下、愛知におい

ての回答引き出しは、連合本部と同様、第1先行組合をはじめとした組合については、ほとんどの組合が賃金カーブの維持の回答を獲得し、賃金改善を要求する組合の中でも賃金改善原資を勝ち取った組合もあった。

連合愛知調査広報組合 賃上げ回答・妥結状況

1 連合愛知(調査広報組合) 5月10日現在 【加重平均】

(回答いただいた186組合のうち、計算が可能な63組合を集計)

規模別	集計組合		2012							2011	
	組合数	人員	平均年齢	平均勤続	要求ベース	要求金額	率	妥結金額	率	妥結金額	
～99	5	223	39.43	14.79	265,229	5,904	2.34	3,742	1.39	3,801	
100～299	4	458	39.43	15.74	261,256	4,389	1.67	3,517	1.34	2,995	
300～999	28	12,129	37.97	13.96	268,895	5,737	2.14	4,479	1.66	4,491	
1000～	26	104,006	37.23	15.92	319,257	6,624	2.07	6,428	2.01	6,443	
計	63	116,816	37.30	15.69	313,692	6,522	2.08	6,209	1.97	6,222	

業種別	集計組合		2012							2011	
	組合数	人員	平均年齢	平均勤続	要求ベース	要求金額	率	妥結金額	率	妥結金額	
製造業	46	101,897	37.46	16.15	318,353	6,705	2.11	6,546	2.05	6,531	
商業流通	9	8,077	35.03	14.03	291,455	4,858	1.67	4,357	1.52	4,509	
交通運輸	4	3,462	39.04	12.17	257,406	5,800	2.26	2,481	0.96	2,644	
その他	4	3,380	36.43	10.15	289,490	5,703	1.98	4,287	1.50	4,638	
計	63	116,816	37.30	15.69	313,692	6,522	2.08	6,209	1.97	6,222	

### 2. 具体的な活動

生活改善に関する取組み  
情報の共有化・共通認識の  
醸成と機運の盛り上げ

#### (1) 2012 春季生活闘争学習会の開催

連合及び連合愛知の春季生活闘争方針の確実な理解と現下の社会経済概況や勤労者生活情勢の把握、さらには克服すべき諸課題について構成組織が認識を一致させることを目的に2011年12月8日(木)れある6階会議室において「連合愛知2012春季生活闘争学習会」を開催した。日本銀行名古屋支店 榎田支店長から「中

部圏内の経済状況と今後の日本経済」と連合愛知・小寺局長より「2012春季生活闘争・連合方針」の講演を行い、共通認識をもって2012春闘にのぞむこととした。当日は、構成組織、地協から99名の参加があった。

#### (2) 2012 春季生活闘争 1万人総決起集会の開催

2012春季生活闘争における要求実現と闘争の盛り上げを図るため、3月4日(日)に名古屋市栄・久屋広場において「働くことを軸とする安心社会を築こう」をスローガンに、「2012春季生活闘争1万人総決起集会」を開催し、生活

水準の維持・向上を図ることとともに賃金制度の確立と賃金水準を維持する取組みを連合として社会にアピールしていくために参加者全員によるデモ行進、街頭宣伝行動も同時に開催し、春闘勝利にむけて意思結集した。



12月8日(木)春季生活闘争学習会



3月4日(日)春季生活闘争1万人総決起集会

### (3)2012春季生活闘争 交渉状況交流会の開催

3月6日(火)の第3回春季生活闘争委員会において、副会長産別を中心とする構成組織の交渉状況を情報交換し、相乗効果の発揮につなげた。

### (4)「春季生活闘争 官公部門決起集会」の開催

春闘期における人事院・総務省からの前向きな回答を引き出すため、公務労働者が共通認識をもつとともに意思の結集を図ることを目的に、3月16日(金)名古屋市教育センターにおいて「2012春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催した。公務労協から「官公労組における今次春闘期のポイント」「2012公共サービスキャンペーン地方行動の取組み」についての講演をいただき、官公労組組合員の意思結集を行った。

### (5)賃上げ・一時金等の要求内容・妥結内容の調査とフィードバック

連合愛知は、各構成組織・加盟組合の協力を得て、調査広報組合に対し、「2012春季生活闘争」の賃金、一時金、主な要求と回答・妥結の調査を行った。

また、情報の共有化を図り、交渉を有利にする後方支援として、FAX速報版を随時発行した。その内訳は、要求内容が3月上旬から2回、回答・妥結状況の情報が3月中旬から4月上旬まで毎週1回発行(計4回発行)した。

5月下旬には、最終版として回答情報の機関紙を発行した。

FAX情報

要求情報

...3月2日(金)・9日(金)

2回発行

回答・妥結情報

...3月15日(木)

~4月6日(金)の間

4回発行

回答情報誌

5月25日(金)に今春闘の

概要も含め、発行

生活改善に関する取組み  
中小・未組織労働者の  
支援の取組み

### (1)中小共闘センターの設置

2011年12月15日に第1回中小・雇用労働委員会を開催し、春闘時期における中小支援活動を行うべく、中小共闘センター委員会の設置を確認。4回の委員会を開催し中小労組の闘争を支援した。

第1回 中小・雇用労働委員会  
2011年12月15日(木)

15:00~

《主な内容》

- ・連合 2012春季生活闘争方針について
- ・連合愛知 2012中小共闘センター委員会の取組みについて

第1回 中小共闘センター  
委員会 2012年2月7日(火)

14:30~

《主な内容》

- ・連合 2012最低賃金の取組み方針について
- ・連合愛知ミニマム目標値の設定について
- ・中小労組情勢報告交流会の開催について
- ・中小企業の実態と中小支援に係る調査について(調査依頼)

第2回 中小共闘センター  
委員会 2012年4月25日(水)

10:00~

《主な内容》

- ・連合 春季生活闘争中間集計について
- ・雇用・労働政策実現の取組

みについて

第3回 中小共闘センター  
委員会 2012年5月25日(金)  
10:00~

《主な内容》

- ・中小企業の実態と中小支援に係る調査について(最終報告)

- ・重点要望書の策定について(骨子提示)

第4回 中小共闘センター  
委員会 2012年6月25日(月)  
10:00~

- ・重点要望書(案)について

### (2)中小労組決起集会の開催

2012年1月27日(金)に名古屋プライムセントラルタワーにおいて、2012春季生活闘争の本格的な開始を控え、要求書を2月末までに提出し要求実現にむけ闘い抜くため、闘争の盛り上げと意思統一を図ることを目的に開催した。本決起集会では、連合本部安永副事務局長より「2012春季生活闘争を中心とする当面の課題」と題して講演をいただき、連合愛知中小共闘センターの取組みや連合愛知ミニマム目標値などの提起を行った。その後、今次春闘に臨む決意として、3構成組織(JAM、UIゼンセン同盟、セラミックス連合)より報告があり、今次春闘のスタートを切った。

### (3)中小労組情勢報告交流会の開催

2012年4月2日(月)にワークライフプラザれある6階大会議室において、3月段階での取組みを踏まえ、未解決組合の早期決着を目指すとともに中小労組の要求目標の獲得にむけて決意を固め合うことを目的に開催した。本情勢報告交流会では、連合本部安永副事務局長より、連合本部の集計を踏まえた連合見解や高齢者雇用などの中央報告をいただいた。また、7構成組織(UIゼンセン同盟、基幹労連、JAM、セラミックス連合、運輸労連、フード連

4月2日(月)中小労組情勢報告交流会

## 知 中小共闘センター 労組情勢報告交流会



連合、全自交)が賃上げ受結状況や未解決組合の早期妥結にむけた取組みについて報告を行った。

### (4)連合愛知ミニマム運動の推進

地域において不合理な賃金格差を是正することを目的に、個別賃金実態調査を展開し約4万件のデータを集めることができた。その集約結果を基に、連合愛知ミニマム目標値を設定し加盟組合に周知し、春季生活闘争の賃金引き上げ目標として取り組むよう呼びかけた。また、経営者団体をはじめとした各種団体にも提示し、賃金引き上げへの要請等に活用した。

### (5)愛知県最低賃金の引き上げにむけた取組み

2012年2月17日(金)に開催した第1回最低賃金部会において、より多くの組合での企業内最低賃金協定の取組みが愛知県最低賃金の引き上げに繋がり、さらに非正規労働者を含む未組織労働者、未加盟組合の労働者の賃金底上げに寄与できることを確認し、協定化の取組みを推進した。

### ワークルール、働き方に関する取組み

#### (1)ワークルールの実現、法令遵守の取組み

学習会については、大幅な法改正がないために開催は見送った。しかしながら、高齢者雇用や労働者派遣法などについては、我々労働者に対して重要な案件であったことから、12月に学習会を開催した。

今後については、政府の動きを注視しながら適宜開催することとする。

### 非正規労働者に関する取組み

#### (1)非正規労働者に対する組織化の取組み

非正規労働者をはじめとする勤労者の組織化にむけた取組みの一環として、2月1~3日に「全国一斉労働相談ダイヤル」を実施した。3日間で209件の相談が寄せられ、その5割強が非正規労働者からのものであったが、現実的に組織化につながるような案件はなかった。

また、第17次組織拡大強化月間(6月)の取組みの一環として、非正規労働者の組織化を「先行する構成組織」から、「今後取組みを強化する構成組織」に対して、その取組みを詳細に紹介いただき、より深いレクチャーから、将来の組織化に役立てていただくための「非正規労働者の組織化推進懇談会(新規)」を、6月27、29日に開催した。連合愛知全体での進捗状況報告にはじまり、構成組織の具体的な取組み事例を中心とした講義、構成組織を取り巻く環境を踏まえながら活発な意見交換を行った。

### 政策制度に関する取組み

#### (1)2012春季生活闘争と連動した政策キャンペーンの展開

2012春季生活闘争の社会的気運の盛り上げ、連合・連合愛知の重点政策テーマ、並びに「社会保障と税の一体改革」について周知と理解を図るため、「あんしんUPキャンペーン2012」のリーフレットを作成し、全組合員対象に配布した。また、3年毎に実施している生活点検活動「ライフUP21」において、「防災対策」と

各地協独自設定項目のアンケート調査を展開し、13,000名を超える組合員・家族・地域より回答が寄せられ、今後の重点要望に反映をしていくこととした。

#### (2)税制・確定申告運動の取組み

広く税に対する啓発と知識の習得を通じ、連合の政策提言や運動について組合員の理解を得るとともに、「天引き」という制度によって、納め過ぎた税金を算出し還付申告することにより、税制の仕組みやありかた、問題点を知る最良の機会と位置づけ2011税制・確定申告運動を実施した。

取組み結果

確定申告件数	1,840件
(還付1,701件、納付139件)	
還付見込み金額	10,603万円
(昨年比873万円増)	

#### (3)「働くことを軸とする安心社会の実現」にむけた街頭宣伝行動の取組み

連合が目指す社会像である「働くことを軸とする安心社会」を柱に、顔の見える活動として1回/月の街頭宣伝行動を実施した。

### 行政、経営者団体等への要請行動

#### (1)人事院中部事務局長への要請行動

中央における公務員連絡会(公務労協)の「人事院・総務省交渉」と連携し、3月23日(金)には人事院中部事務局に対して非常勤職員等の制度および処遇改善や民間給与実態調査の見直しをはじめとする要求実現にむけた「要求書」を提出した。また、3月26日(月)に愛知県人事委員会・名古屋市人事委員会に対して「知事および議会に対し二度と賃金抑制を繰り返させない具体的措置を求めること」「賃金抑制分、諸手当の引き下げ分について、厳密に官民較差に反映させること」などの内容を盛り込んだ「要請書」を提出した。

## (2) 愛知県知事・名古屋市長への要請行動

公務部門に働く組合員の総合的労働条件の維持・改善にむけて、3月26日(月)に愛知県知事、3月



3月26日(月)官公部門 愛知県知事への要請行動

29日(木)に名古屋市長への要請行動を実施した。

公共サービスの質の確保や高齢者雇用制度が円滑に運用されるよう条件整備をすることなどを求めた「要望書」を、愛知県・名古屋市に提出するとともに意見交換を実施し、勤労者・生活者の視点に立った政策の推進を要望した。

## (3) 愛知労使懇談会等の実施

2012年2月14日(火)の愛知県経営者協会との懇談会、3月1日(木)の中小企業団体中央会との



2月14日(火)愛知労使懇談会

懇談会で、連合の春季生活闘争方針に基づいて、各企業労使交渉の事前環境整備を目的に意見交換を行った。

## 3. 全体のまとめ

(1) 2012春闘において連合は「～震災からの復興 希望と安心の社会づくり～賃金復元でデフレ脱却、「人財」育成で産業界・企業力強化を」を打ち出し、賃金水準等労働条件の復元に取り組んだ。

愛知県の状況は、円高、昨年秋季のタイ洪水の影響により自動車産業を始めとした製造業の生産状況は一時期落ち込んだものの、今年に入り回復基調となり、中経連による4～6月期調査では製造業では2期連続で改善してきている。このような状況下、各加盟組合が精力的な交渉を行った結果、ほとんどの組合が賃金カーブの維持の回答を獲得し、賃金改善を勝ち取った組合もあった。連合愛知は構成組織・加盟組合の交渉をサポートする役割に基づき、情勢の変化に対応した情報提供や機運の盛り上げ等を意識した取り組みを展開した。

(2) 中小労組支援については、中小労組の意思統一を目的とした「中小労組決起集会」の開催や早期妥結にむけた「中小労組情勢報告交流会」など中小共闘センター委員会を中心に支援活動を

行った。

また、連合愛知ミニマム運動については、約4万件のデータを基に目標値を設定し賃金格差是正を目指すとともに、経営者団体等へ提示し賃金引き上げへの要請等にも活用した。

(3) 特定(産業別)最低賃金の引き上げの根拠として、構成組織に企業別最低賃金協定の更新(既締結)や締結(未締結)のさらなる促進を働きかけた。今後も、最低賃金学習会など機会をとらえて、さらに多くの企業で最低賃金協定締結がなされるよう働きかけ、働く仲間の賃金の底上げ、格差の是正につなげていく。

また、地域別最低賃金は、大震災後の最低賃金議論となるが、「雇用戦略対話」における早期の地域別最低賃金を800円以上に引き上げやAランクにふさわしい引き上げ額を審議会で訴える。

(4) 今春闘では、行政への要請行動や毎月の街頭宣伝行動を中心に取り組みの強化を図った。「働くことを軸とする安心社会」を柱に、連合が目指す希望と安心の社会実現にむけ、顔の見える運動として1回/月の街頭宣伝行動を実施した。また、連合方

針に基づきすべての労働者にむけた労働相談ダイヤルを12月・2月・6月に実施した。労働相談のフォローや組合づくりについては、体制を含め強化を推進してきた。

(5) 愛知県の雇用状況は、有効求人倍率が震災以降回復基調となり、5月度は1.20倍で12カ月連続前月を上回っている。新規求人倍率についても1.91倍で、9カ月連続前月を上回っている。その要因としてエコカー減税などで自動車産業などの業績が上向いていることで、雇用環境の改善が続いていることが挙げられる。新規高校卒業予定者の就職率は、98.5%と2年連続前年同月を上回った。大学・短大卒業予定者の就職率も91.6%と前年同月比で1.4%上昇している。しかし、今後のユーロ不安等世界の経済情勢を鑑みれば、雇用環境は楽観視出来ないと考えられる。連合愛知は引き続き、雇用のミスマッチ等雇用問題の解消にむけ取り組みを推進していく。また、連合が求める社会像「働くことを軸とする安心社会」実現の世論喚起のためにタウンミーティングを開催する。

## 地域に根ざした顔の見える運動を目指して

2012地協役員研修会を開催



あいさつに立つ神野会長

連合愛知は9月3日～4日、岡崎ニューグランドホテルにおいて「2012地協役員研修会」を開催した。地協運動の強化と地協役員の研修・交流を目的に実施している本研修会には、神野会長をはじめ、各地協の代表など82名が参加した。

神野会長のあいさつに続いて、土肥事務局長から

連合愛知2013～14年度活動方針(案)について説明をした。その後、新地協になってからの振り返りと今後の課題と題して4つに分かれての分散会を行った。政策提言機能、政治活動、生活相談機能、組織化・拡大活動と中小労組支援、中小・地場労組への支援の5項目について活発な意見交換が行われた。

本研修会を通して、参加者は互いの地協における取組みについて理解を深めるとともに、地域に根ざした顔の見える運動を前進させるべく、地協が担うべき役割について再確認することができた。



話を聞く参加者

## 「働く」ことへの意識を再確認

インターンシップ研修を実施

連合愛知は、2012年度は8月20日～31日の10日間にわたって大学生1名を受入れ、研修を行った。連合愛知の果たすべき役割や活動内容への理解を深めるために会長や事務局長との懇談の場を設定したり、各局から説明を行ったりした。

また、労働相談センターや安全衛生センター、愛知労福協、ハートフルセンターでの研修、自動車総連・トヨタ高岡工場、JAM・興和工業所、愛教組、電力総連・武豊火力発電所他への訪問も行った。最終日には、研修報告会として、研修生が設定したテーマについて発表した。インターンシップ研修生は、さまざまな活動を通して、労働組合についての認識を深めるとともに、「働く」こ

とへの意識を再確認することができたようである。この場をお借りして、研修にご支援・ご協力をいただいた多くの方々に感謝申し上げます。



愛教組との意見交換



武豊火力発電所への訪問

# 連合愛知 助け合い運動

期間 10月1日～12月20日

組合員の大切なお金を各種福祉事業に幅広く役立てていくために  
みなさんの積極的な協力をお願いします!

第11回 執行委員会

2012年8月29日

確認事項

- 1 当面の日程について
- 2 連合愛知各種委員会の委員交代について  
構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

委員会名	構成組織名	新	旧
男女平等参画推進委員会	セラミックス連合	東野広隆	小林篤之

- 3 退任役員への功労記念品の贈呈について
- 4 2013年度連合愛知年間大日程(案)について
- 5 構成組織の組織拡大について
- 6 2013年度「組織拡大スタート月間」の取組みについて
- 7 2013地域ミニマム運動(個別賃金調査)の取組みについて
- 8 ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの協力について
- 9 愛知県知事との懇談会の開催について  
日 時:2012年10月24日(水)14:30~16:00  
場 所:KKRホテル名古屋 3F「芙蓉の間」
- 10 2012年度 教育改革運動への協力について  
(1)「愛知の教育をよくするための県民陳情署名」(団体署名)への協力  
(2)第62次教育研究愛知県集會  
日 時:2012年10月20日(土)9:30~11:25  
場 所:愛知県産業労働センター  
(ウインクあいち)大ホール

- 11 確定申告運動担当者会議の開催について  
日 時:2012年9月28日(金)10:00~12:00  
場 所:ワークライフプラザれある 6F大会議室
- 12 第25回愛知県勤労者スポーツ大会への対応について  
日 時:2012年11月10日(土)9:00~16:00  
場 所:愛・地球博記念公園(モリコロパーク)
- 13 連合愛知助け合い運動について
- 14.北方領土返還要求 街頭啓発・署名活動の協力について

期 間:2012年10月~11月の2ヵ月間  
提出期限:2012年12月14日(金)

議 事

- 1 役員立候補に関する内規の制定について
- 2 2013~2014年度活動方針(案)について
- 3 派遣専従役員の交代について

構成組織	新	旧
基幹労連	野々川嘉則	小寺 浩志
情報労連	加藤 夕紀	須田 勇



野々川嘉則局長



加藤夕紀局長

- 4 非専従役員の交代について

構成組織	新	旧
自動車総連	高須 淳則	小川 敬太

- 5 各種審議会・委員会等への派遣について
- 6 登録人員の変更について
- 7 大会代議員選出基準の一部改定(案)について
- 8 連合愛知第24回定期大会の開催について(公示)  
日 時:2012年10月29日(月)13:00~17:00  
場 所:日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
- 9 連合愛知2013年度暫定予算について
- 10 岡崎市長選挙の候補者推薦について  
推薦候補者:園山 康男(そのやま やすお)  
[無所属 新人]  
投・開票日:2012年10月21日(日)



ZENROSAI NEWS



安心の笑顔のそばにはいつも、全労済があります。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをまもっています。出資金をお支払いいただくと組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済**

全国労働者共済生活協同組合連合会

あなたの職場で働くすべての人と家族の  
こころの相談室

# 心の相談室

電話相談 専用電話 **052(618)7831** な や み いちばん

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00  
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談 場所/ (社)日本産業カウンセラー協会中部支部  
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

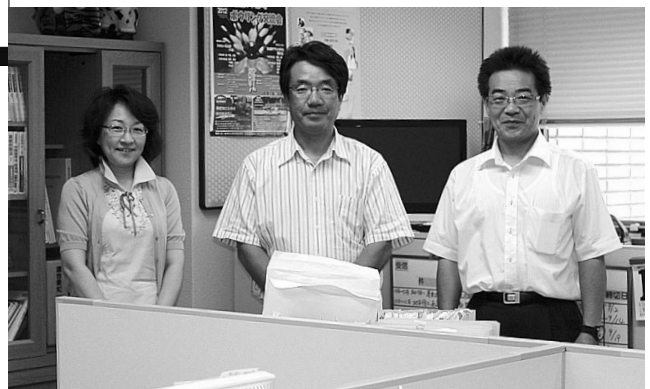
地協紹介

名古屋地協

こんな活動やっています！

名古屋地協では、勤労者が生活のすべての面で安心でき、頼りがいのある地協となるよう、「名古屋地協ホームページ」を開設しました。内容は、トップページに勤労者安心ネットワークの紹介をはじめ、地協で行われる会議などのお知らせ、連合や連携団体へのアクセス、とっておき情報などが掲載されています。今後も充実した内容をお届けしたいと考えていますので、ぜひご覧下さい。

今年も「第4回ハート&はーとボウリング交流会」や「第28回名古屋シティハンディマラソン」など、秋の恒例行事に取り組みます。これらの行事は地域の組合員さんや政策推進議員・福祉施設の皆さんとの親睦交流を目的として行い、昨年の参加者からは「参加してよかった」「もっと多くの人に知ってもらいたい」などの声を頂きました。今年もより多くの皆さんに参加していただける企画になるよう、地協役員一同がんばっています。



3人でがんばっています！